

第4学年 道徳学習指導案

日時 平成17年10月28日(金) 2校時
対象 2組(男17名 女12名 計29名)
指導者 前田 華奈子

- 1 主題名 家族の一員として [家族愛4-(3)]
- 2 資料名 お母さんのせいきゅう書 (出典:東京書籍「ゆたかな心で」4年)

3 主題設定の理由

(1)価値について

第3学年及び第4学年の指導内容4-(3)は、「父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合っ楽しい家庭をつくる。」となっている。この内容は、家族集団とのかかわりに関するものであり、家族や家庭を愛する心を持ち、家庭生活により積極的にかかわろうとする児童を育てようとするものである。

家庭は、児童の日々の生活における基盤となる場である。現在、子どもたちを取り巻く家庭環境は様々であるが、成長を願う家族の思いは同じである。そこで、そのような家族の思いを知り、家庭や家族を愛する心を育てることが大切である。さらに、温かい家族の中で生活しているからこそ、自分でも何かできるものはないだろうかと自主的に協力することで、より楽しい家庭をつくることができる。

この期の児童は、自主性が増し、集団の中で主体的に活動することができるようになる。そこで、家庭における重要な一員であるという自覚を通して、家庭に対して自ら積極的に貢献する姿勢をもたせることが必要であると考えられる。

(2)児童について

子どもたちは今年度、10歳という節目を迎える。生まれてからの10年間を振り返る活動を行い、自分が愛され、家族に支えられてきたことを自覚した。また、一人勉強や日記の中で、家族の紹介や家族と過ごした様子がよく書かれおり、日常生活の中で深くかかわっていることがうかがえる。ただ、日常的に家族に頼り、忘れ物をした原因を家族のせいにして、家庭で身の回りの仕事を任せっきりにしてという様子がみられる。家庭での役割も「やらされている。」と感じ、「やりたくない。」と思う時が多々あるという。

そこで本資料と家族からの手紙から、家族にとって重要な存在であるという自覚を通して、家庭生活により積極的にかかわろうとする心情を養っていきたいと考えた。

(3)資料について

主人公「たかし」は、お使いや掃除など、自分がしているお手伝いのお駄賃として、お母さんに500円の請求書を出した。これに対して、お母さんは、何も言わずに、たかしの要求どおり500円を支払う。さらにお金とともに、たかしに請求書を出す。その紙には、「病気をしたときのかん病代…0円」「洋服やくつやおもちゃ代…0円」など、どの代金も0円と書かれてあった。それを見てたかしは、涙ながらに自分のしたことを反省してお金を返し、心からわびるという内容である。

母親が出した0円の請求書に込められた無償の行為や愛情に気付き、自分も家族の一員として協力しようとするたかしの姿から、家族の重要な一人として、家庭への貢献の姿勢をもつのに適した資料である。

(4)指導にあたって

事前に、総合的な学習の時間『十歳プロジェクト～十さいをいわおう～』において、生まれてから現在までの「自分史」を作成し、家族の願いや心配ごとをまとめている。心のノート(P74～75)も活用して、かけがえのない家族の思いを感じている。本時は、家族に対する自分の思いを見つめる時間である。

本時の気づく段階では、心のノート(P74～75)で事前の学習を振り返りながら、現在家族にやってもらっていることや自分が家族のためにやっている役割やその時の思いを振り返る。

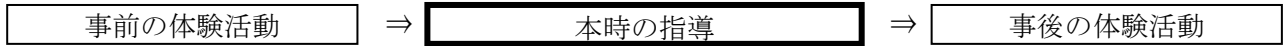
見つめる・つかむ段階では、資料をもとに、たかしの書いた請求書の思いに共感させる。そして、母親の請求書とたかしの請求書を比較することで思いの違いに気付き、たかしの流した涙の意味を考えさせる。その後、たかしはどんな気持ちをもって手伝うのか考えることで、本時の価値について迫りたい。

広げる段階では、心のノートやそれぞれの家族から子どもたちへ書いていただいたメッセージを通して、家族の中の重要な一員であり、積極的に貢献しようという思いをふくらませたい。

まとめる段階では、これから、家族の中で自分はどうのように過ごしていきたいか、考える。

事後の活動として、総合的な学習の時間では、家族の中のみならず、学級・学校の中でも重要な一員としてとらえ、「今の自分を見つめよう」という学習に入る。自分のよさや可能性を発見することで、より積極的に行動する態度を養いたい。

4 本時指導の位置付け



○総合的な学習の時間
『十歳プロジェクト
～十さいをいわおう～』
「第一章 自分史」
ねらい
自分のこれまでの生き方や今の自分、今後の生き方について、友達、家族などの他者とのかかわりに気付き、自分自身や家族、友達を大切にしていこうとする。
【心のノートP74～76】

○道徳
主題名 家族の一員として
価値 家族愛 4－(3)
資料名 おかあさんのせいきゅう書
ねらい
自分が家庭における重要な一員だと自覚し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくろうとする心情を養う。
【心のノートP74～77】

○総合的な学習の時間
『十歳プロジェクト
～十さいをいわおう～』
「第二章 今の自分を見つめよう」
ねらい
自分のこれまでの生き方や今の自分、今後の生き方について、友達、家族などの他者とのかかわりに気付き、自分自身や家族、友達を大切にしていこうとする。
【心のノートP74～77】

5 本時の指導

(1)ねらい

自分が家庭における重要な一員だと自覚し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくろうとする心情を養う。

(2)展開の概要

段階	学習活動と主な発問	予想される発言や心の動き	指導・援助の留意点
気 づ く 5 分	1 心のノート(P74～75)でこれまでの家族とのかかわりについて振り返る。 ○自分に対して、家族一人一人は、どんなことをしてくれますか。 ○家族に対して、あなたはどんなことをしていますか。	・食事の支度。 ・洗濯。 ・相談にのってくれる。 ・弟や妹の面倒をみている。 ・食器を洗っている。 ・お使いに行っている。	事前に記入した心のノート(P74～75)を活用し、自分の家族やその中の自分について見つめる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 家族に対する自分の気持ちを見つめよう。 </div>			
見 つ め る 10 分	2 資料「お母さんのせいきゅう書」の前半(①)を読み、主人公「たかし」の気持ちについて、話し合う。 ○たかしはどんな気持ちから請求書を書いたのでしょうか。 ○昼、お母さんが500円を置いたのを見て、たかしは、どんな気持ちになったのでしょうか。	・いつも手伝っているからたまにはご褒美がほしいなあ。 ・家の人も働くと給料をもらっているから、ぼくももらっていいはずだよ。 ・やったあ。もうかった。 ・自分の考え通りにうまくいった。 ・お母さん、ありがとう。また、請求書を出そう。 ・500円をどう使おうか。	・「請求書」について補説する。 ・請求書を大きく提示する。 ・なぜ、その金額をつけたのかについても考えさせる。 ・500円玉を提示する。

つ か む 10 分	<p>3 資料の後半(②)を読み、たかしの気持ちについて、話し合う。</p> <p>○おかあさんの請求書を見たとき、どのようなことを感じたのでしょうか。</p> <p>◎これから、たかしは、どんな気持ちをもって手伝うのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・請求書を出して失敗した。 ・何も考えず請求書を出してごめんなさい。 ・お母さんは、いつもぼくのために、お金なんかなしでいろいろやってくれていたんだ。 ・家族の一人として、みんなのことを考えて。 ・お母さんのように、家族のことを思って仕事をしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の後半(②)を読みながら、お母さんの請求書を大きく提示する。 ・お母さんの請求書を見た瞬間の児童の反応を大切に上げたい。
広 げ る 17 分	<p>4 普段の生活を振り返り、家族の一員としてどのように過ごしたらいいのか考える。</p> <p>○家族の一員として、ほかにどのようにかわることができるのか考えましょう。</p> <p>○家の人からのメッセージを読みましよう。</p> <p>○今日の学習を通して、家族に対する自分の気持ちをまとめましよう。</p>		<p>心のノート(P.77)を活用し、他にも様々な場面で役に立つことがあると広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に主旨を説明し、保護者の理解と協力を得て、準備しておく。 ・書く活動を通して、自分自身の考えをまとめる。
ま と め る 3 分	<p>5 友達の考えや教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これからは家族のことも考えて自分のできることを進んでやりたい。 ・家族の一員として、もっと協力して生活したい。 	

6 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">家族の一人として</div>	<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> たかしの顔 ・ごめんなさい。 ・ありがとう。 ・これからは家族のために協力するよ。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> おかあさんのせいきゅう書 たかしへのせいきゅう書 お母さんより ○親切にしてあげた代・・・0円 ○病気をしたときのかん病代・・・0円 ○洋服やくつやおもちゃ代・・・0円 ○食事代と部屋代・・・0円 合計・・・0円 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> お母さんへのせいきゅう書 たかしより ○おつかい代・・・100円 ○おそうじ代・・・200円 ○おるすばん代・・・200円 合計・・・500円 </div>	<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> たかしの顔 ・たまには、ごほうびがほしい。 ・いつもやっているんだ。 ・五百円ならくれるかな。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">家族の中の自分について見つめよう。</div>
---	---	--	---	---	--